

一般社団法人 大和森林管理協会

大和森林管理協会の設立

森林経営管理法、森林環境譲与税の制度スタート
様々な仕組みが同時多発で動き出した
俯瞰視できるプラットフォームの構築

大和森林管理協会 四つの柱

1. 森林情報共有化

地域林政アドバイザー、吉野山主有志の会(大規模所有)、共同GISの構築

2. 共同施業

岡橋塾山守育成塾、吉野山主有志の会、森林総合監理士会の連携

3. 人材育成

岡橋塾、森林総合監理士育成、地球のしごと大学関西校、ボランティア養成、木材勉強会、明日の奈良の森を考える学習会

4. 販路開拓

輸出、環境省FS、バイオマスインフラ普及、セブンの森、チャイムの鳴る森

地域林政アドバイザー
基礎自治体
地域との連携

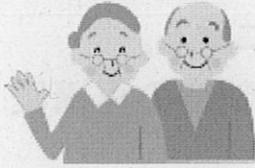
基礎自治体との連携

市町村に権限が委譲される流れ
森林経営管理法、森林環境譲与税
地域林政アドバイザー制度
環境省FS 森のエネルギー研究所

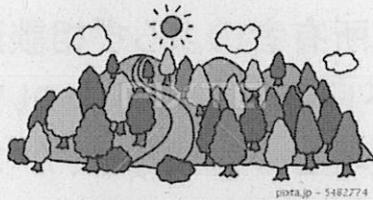
下北山村 → 森林情報システム、建築家、人材育成・・・。
御杖村、東吉野村、川上村、天川村、生駒市、王寺町、上牧町等

森林情報プラットフォーム
の立上げ

森林所有者



森林



林業関係者



人が森林所有者である時間は少ない。

資産家

老人

森林組合

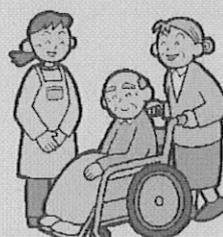
税理士等士業



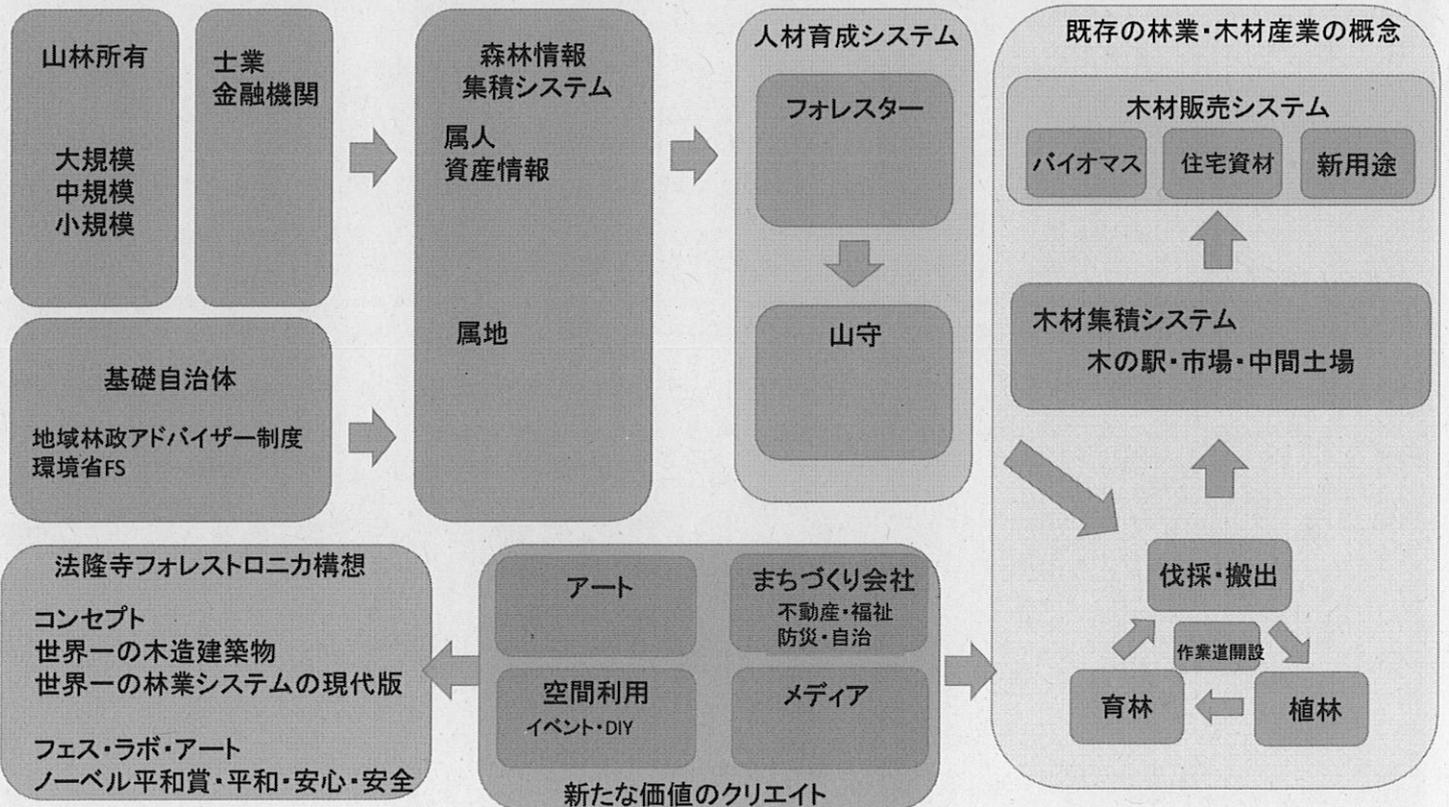
銀行



福祉施設



目先を変えて、つなぎ機能を果たせる仕組みがあれば円滑に流れるかもしれない



山林所有者の有志のグループ

- ・吉野林業地を始めとした山林所有者のよろず相談所を開設
- ・森林法務の専門家を集め、不良資産の所有についての相談に乗る。
- ・森林管理の課題を預かり、管理者の育成など、かつての山守制度の再構築

セブンの森

産:
大手コンビニエンスチェーン

学:近畿大学

陽楽の森
セブンの森

なないろ
明日なら森
山〇
門前自治会
森林総合監理士会

官:・奈良県・王寺町・上牧町・
吉野郡複数自治体

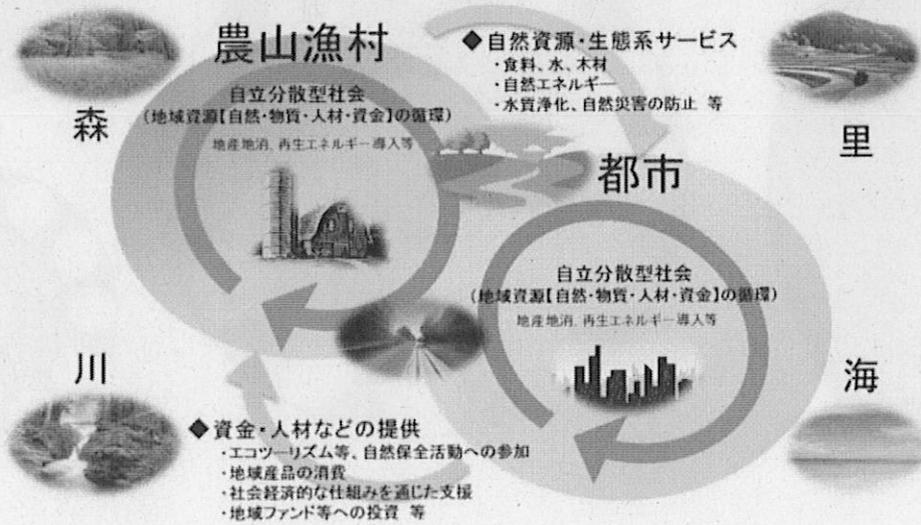
フォレスター
森林ボランティア
地域商社
CSV:価値の創造
森林の価値

民:大和森林管理協会

法隆寺フォレストロニカPJ
ビジョンの共有・価値の創出:Create Shared Value

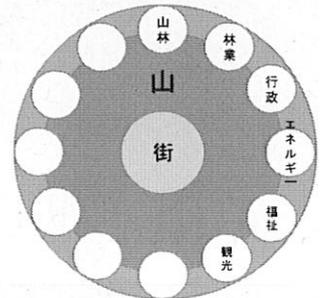
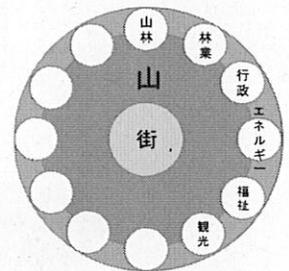
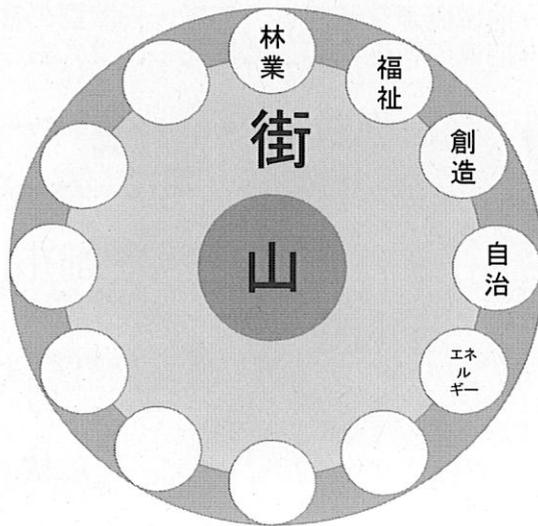
地域循環共生圏

○各地域がその特性を生かした強みを発揮
→地域資源を活かし、自立・分散型の社会を形成
→地域の特性に応じて補完し、支え合う





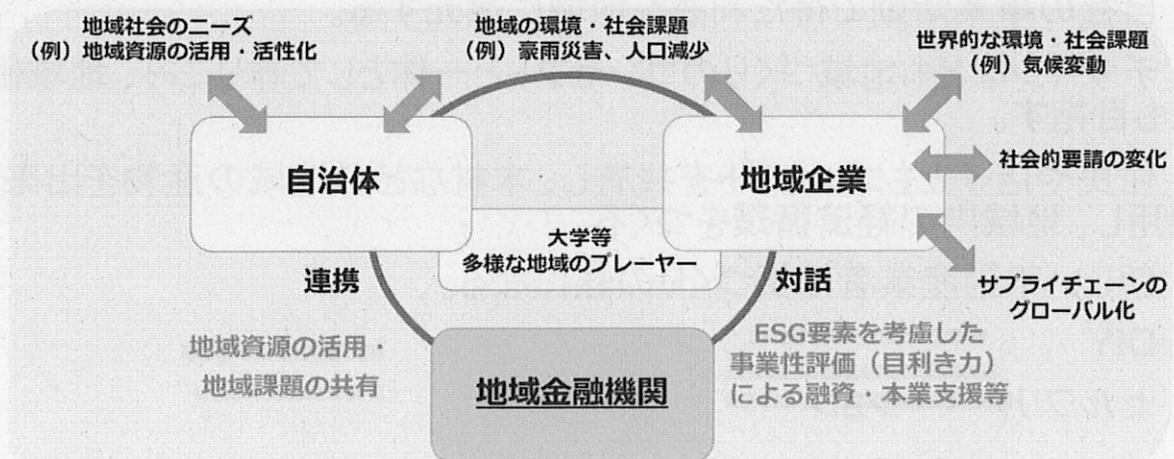
地域循環共生圏の構築



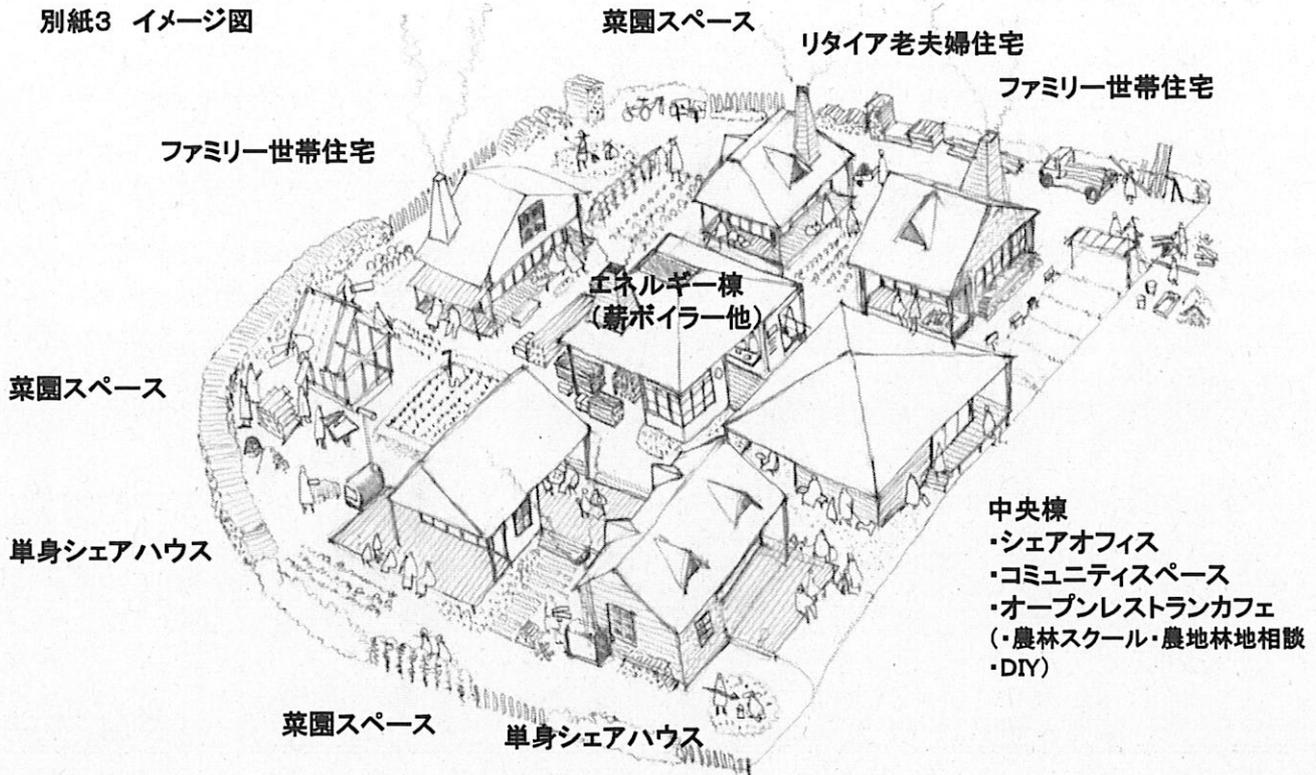
地域ESG金融

地域ESG金融研究

・奈良中央信用金庫と協働



別紙3 イメージ図



新しいスタイルの不動産業(町づくり会社)

- ・ 現状の不動産業は、ただの斡旋業、管理業。
- ・ 今、地域がどうなっていて、何が必要か等は課題にしていない。
- ・ 地域愛業的なもの
- ・ 自社の事業活動で得た利益を地域に還元する。
- ・ デザインなども地域づくりのコンセプトと一体として作りこみ、地域価値の向上も目指す。
- ・ 住民や店子ともコンセプトを共有し、木材などの地域の産物を出来るだけ利用し、地域内の経済循環をつくる。
- ・ 新しい不動産業者は街づくりの核になる。
- ・ DIY
- ・ セルフリノベーション

陽樂の森システムの構築 要素間の連動体制の構築

要素間の連携

要素間の連携を創る。

一般社団法人どすこいの卒業生がなないろサーカス団で就労する。

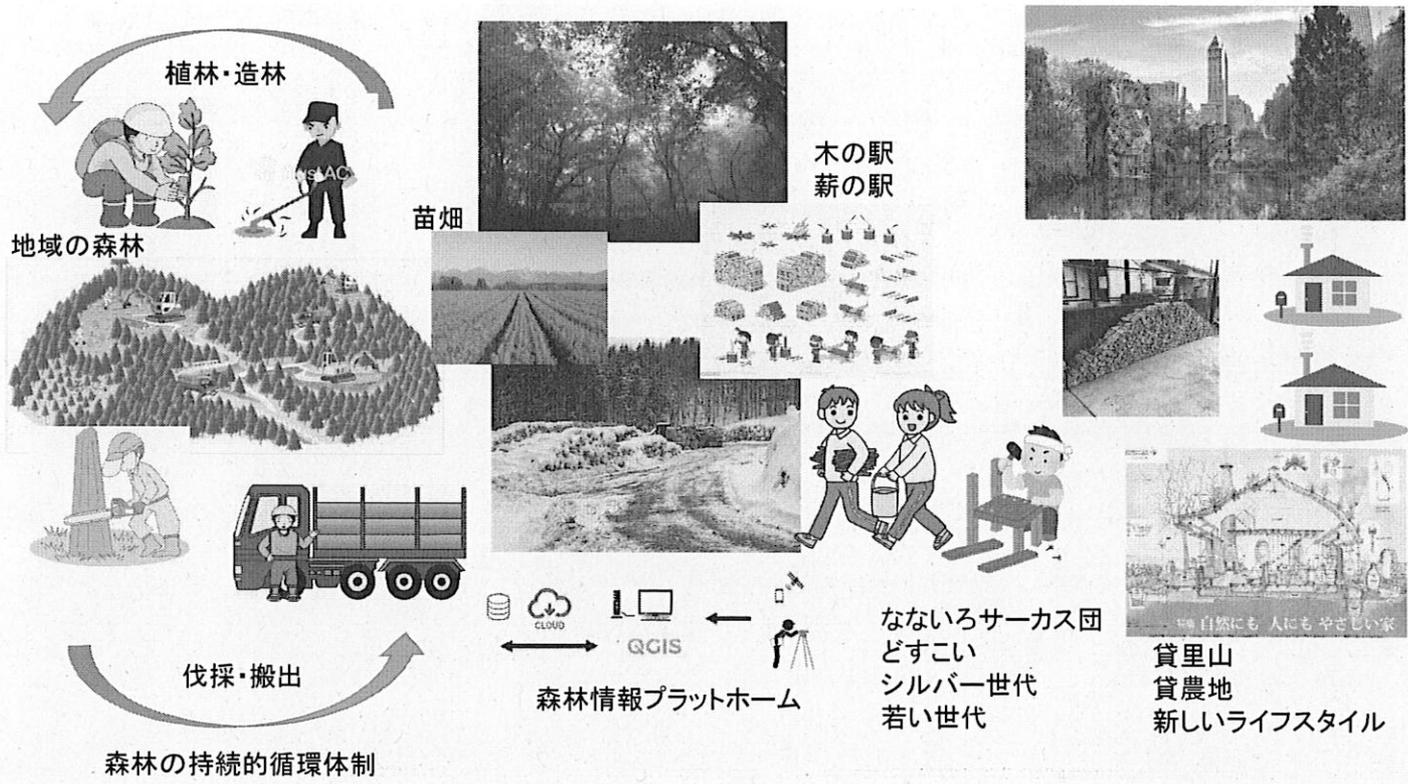
職種は農林業等(苗畑、キノコ、薪割り、果樹、DIY、木材販売等)

薪ストーブや薪ボイラーを普及する。森林資源の需要が出来る。

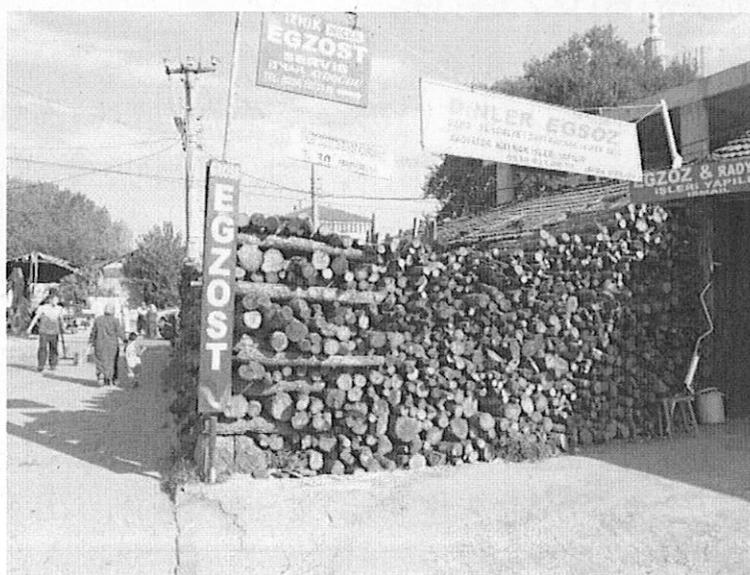
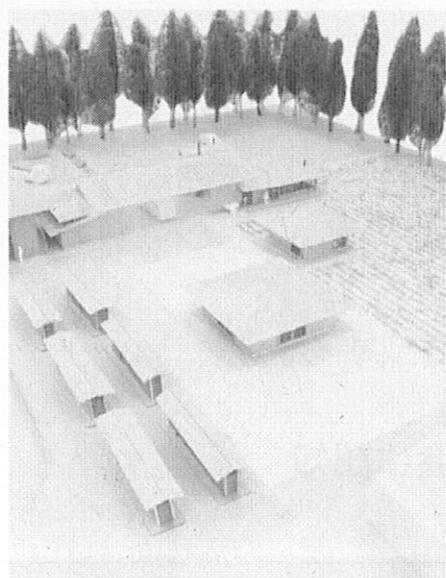
工務店や設計士と連携し、木材の販路の開拓を行う。

不動産の仕組みを構築し、住まい手も同時に育成する。

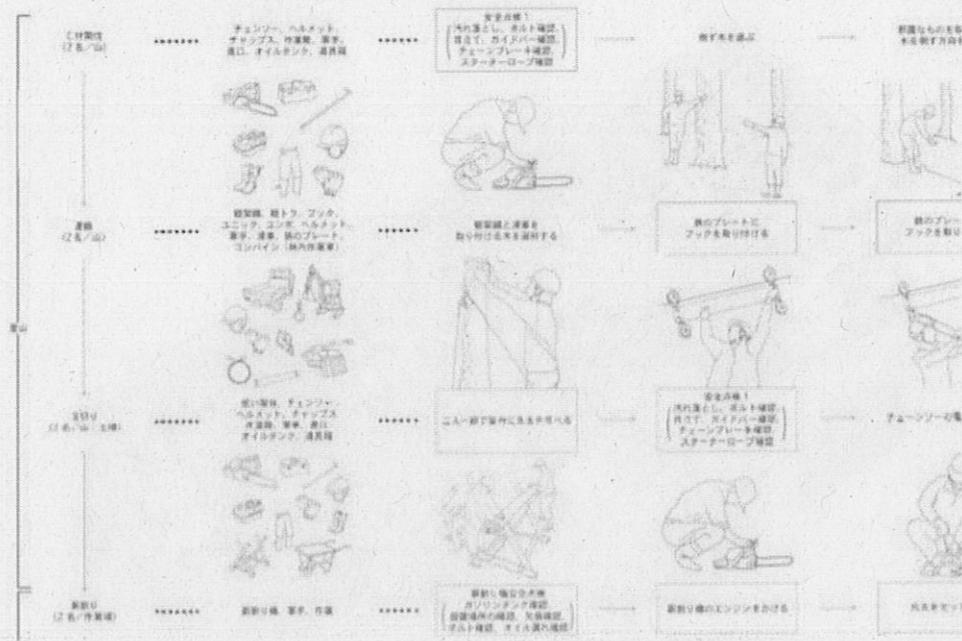
セブンの森活動やチャイムの鳴る森活動で社会に認知
地域の森林が活性化する。好循環を創り出す。



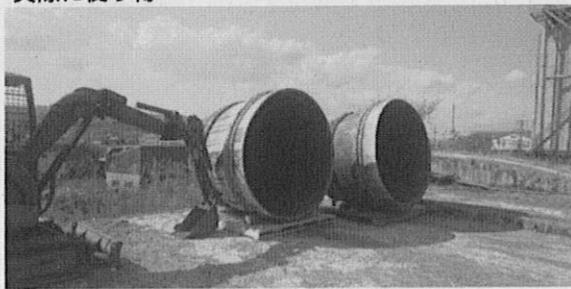
木の駅・薪の駅



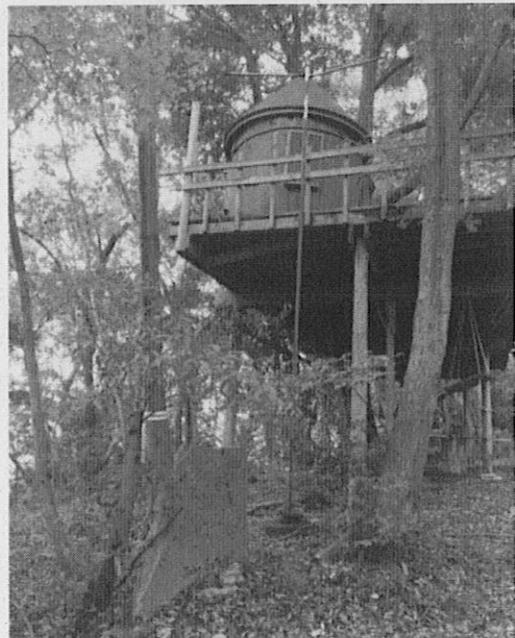
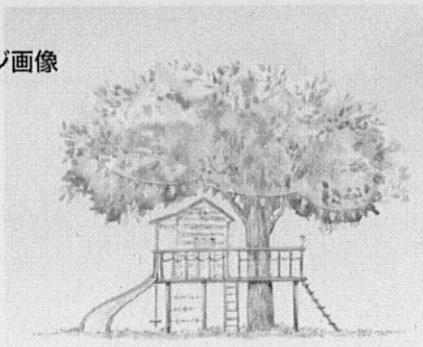
栗源の里山資源化作業分解



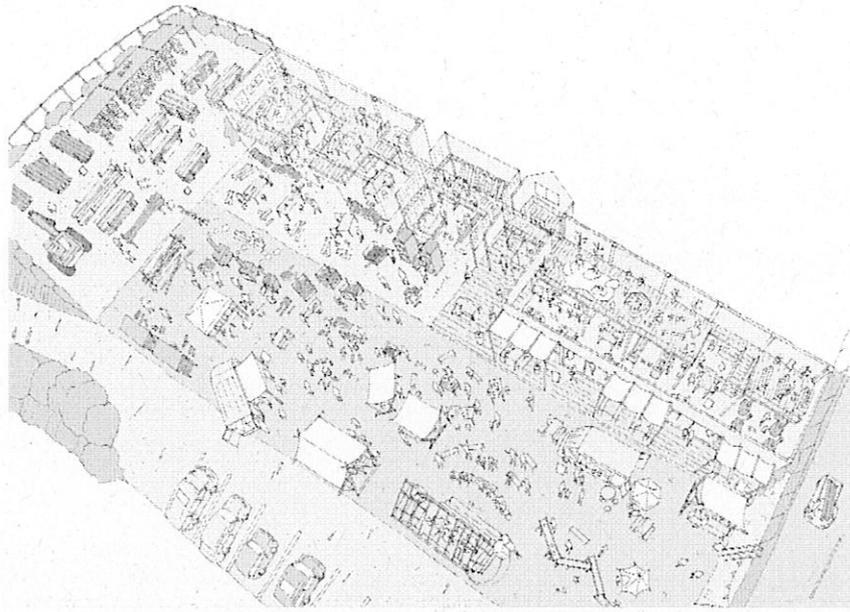
実際に使う樽



イメージ画像



参考) ジョンギャスライト氏の樽ツリーハウス



チャイ森再開

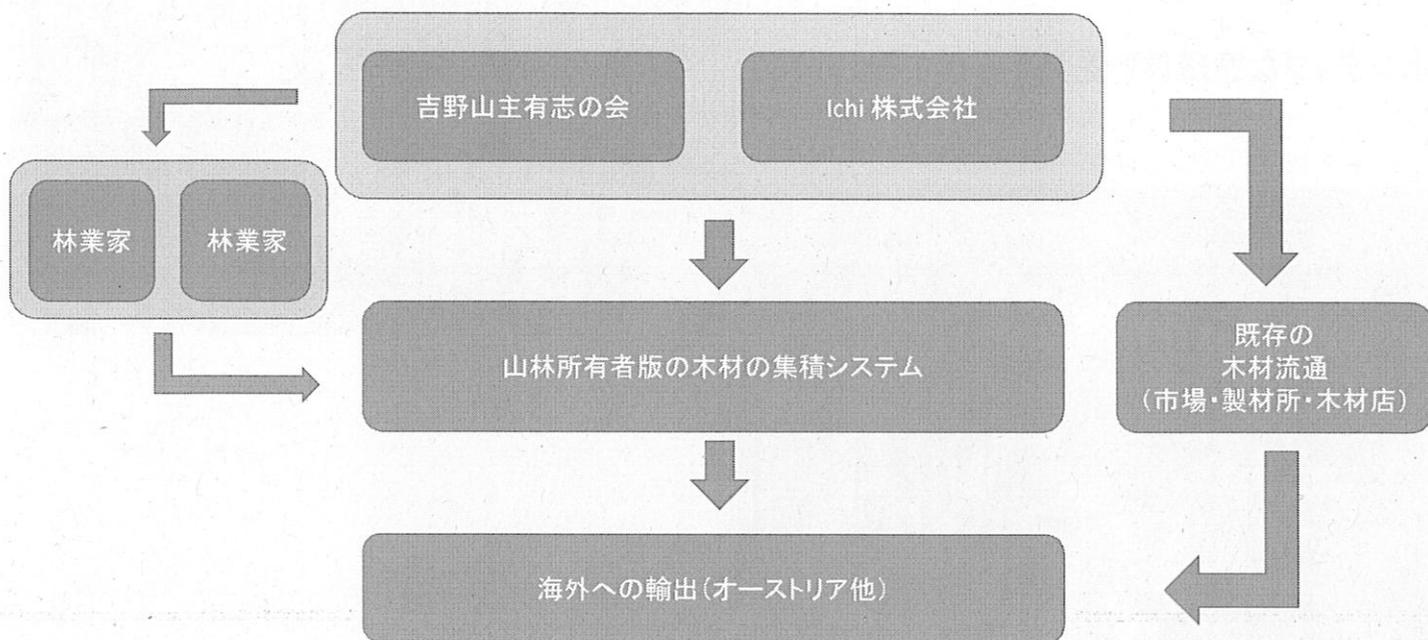
バージョンアップして、伝えたいことを凝縮して、
増えてきた仲間たちと
チャイムの鳴る森 を再開

ポジティブな循環体制を見える化する。

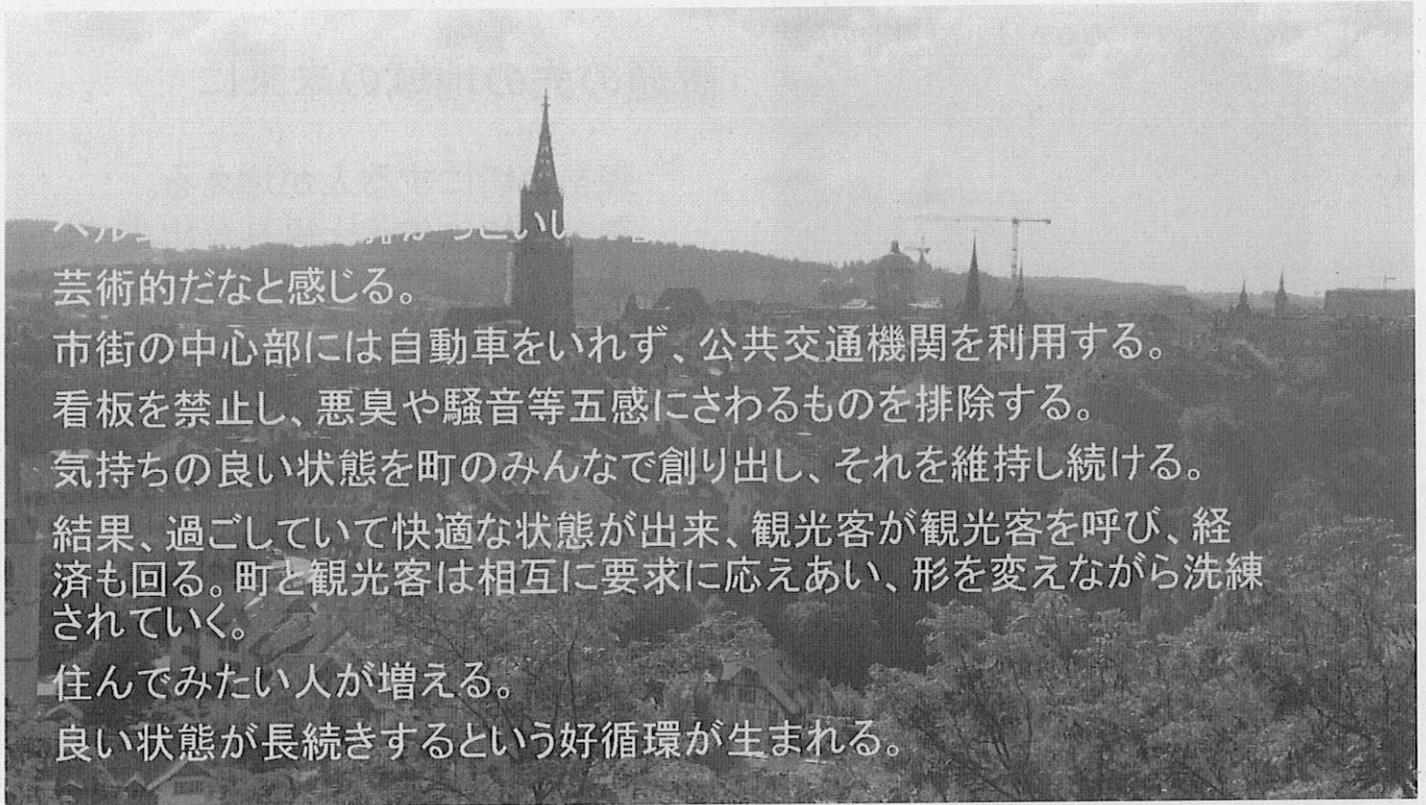


吉野材の高値販売 への挑戦

吉野材の輸出



テーマは統合



芸術的だなと感じる。

市街の中心部には自動車をいれず、公共交通機関を利用する。

看板を禁止し、悪臭や騒音等五感にさわるものを排除する。

気持ちの良い状態を町のみんなで創り出し、それを維持し続ける。

結果、過ごしていて快適な状態が出来、観光客が観光客を呼び、経済も回る。町と観光客は相互に要求に応えあい、形を変えながら洗練されていく。

住んでみたい人が増える。

良い状態が長続きするという好循環が生まれる。

未来像の共有が大事

- 複数のセクターが動き出した。
 - 言語がバラバラ
 - きっと同じことを言っているが、意思疎通が案外難しい。
 - 考える前提になるコンセンサスがみな違う。
- みんなで共有できる未来像が必要
- 未来像が共有できると動きがスムーズ。
- 未来像が共有できないと動きが悪くなる。
- バックキャストストーリーを形にしなければならない。
- わかりやすいものである必要がある。

嘘のような本当になるかもしれない未来のお話



課題の先の地域の未来に

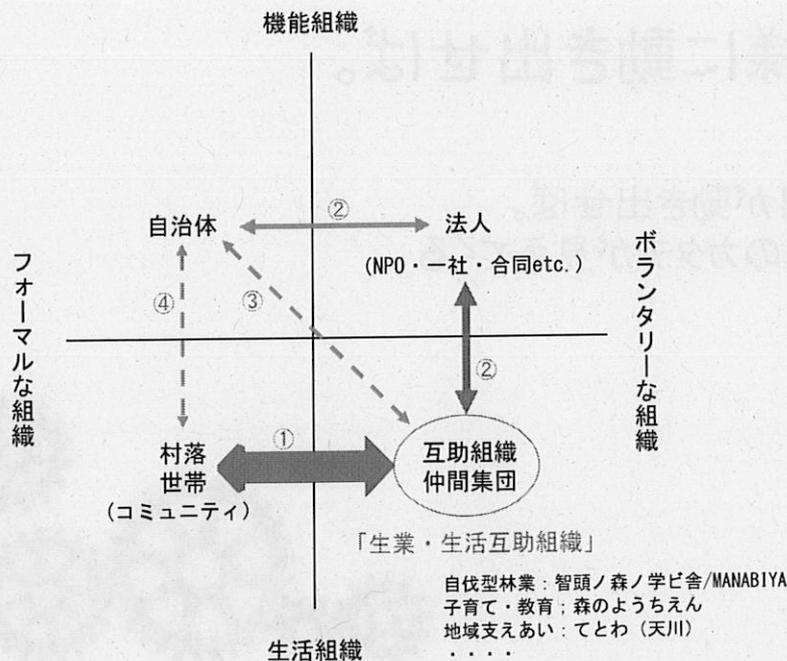
森を大切にすることが増える。
 森を適切に使う仕組みが出来ている。
 美しい森が出来る。
 穏やかで美しい町が出来る。
 安心・平和・循環可能な未来が。
 統合(心、行動が一致)
 プレゼント
 バックキャストストーリー

一般の人ともコンセンサスをつくる。

ノーベル平和賞

統合の先にあるものは？

やっけることは、今と同じ毎日。
 他セクターとの関係性が変わる。
 自分たちのやっていることの意味合いが変わる。
 関係性が変わるだけで、意義が変わる。
 モチベーションが上がる。
 エンジンがかかる。



地方創生の大きな選択肢として

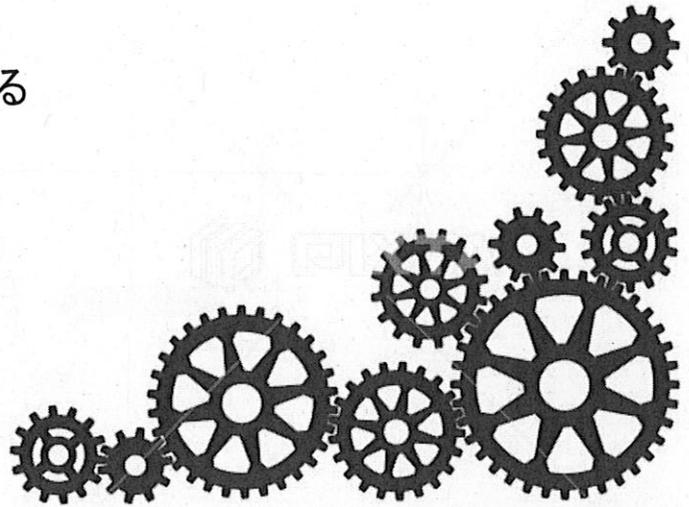
- ・グローバル経済・都市一極集中の指針に対する地方のあり方の模索
- ・コロナ後の選択肢を創る。
- ・地域循環共生圏の構築により眠っている地域資源の再発掘（人、土地）
- ・国土の70%の森林をプラットフォームにシステムの構築
- ・地域を創るのは、地域資源を知る地域
- ・眠っているものを活かす方法を徹底的に知る。
- ・俯瞰視することで見えてくるものがあるのではないか。

歯車の様に動き出せば。

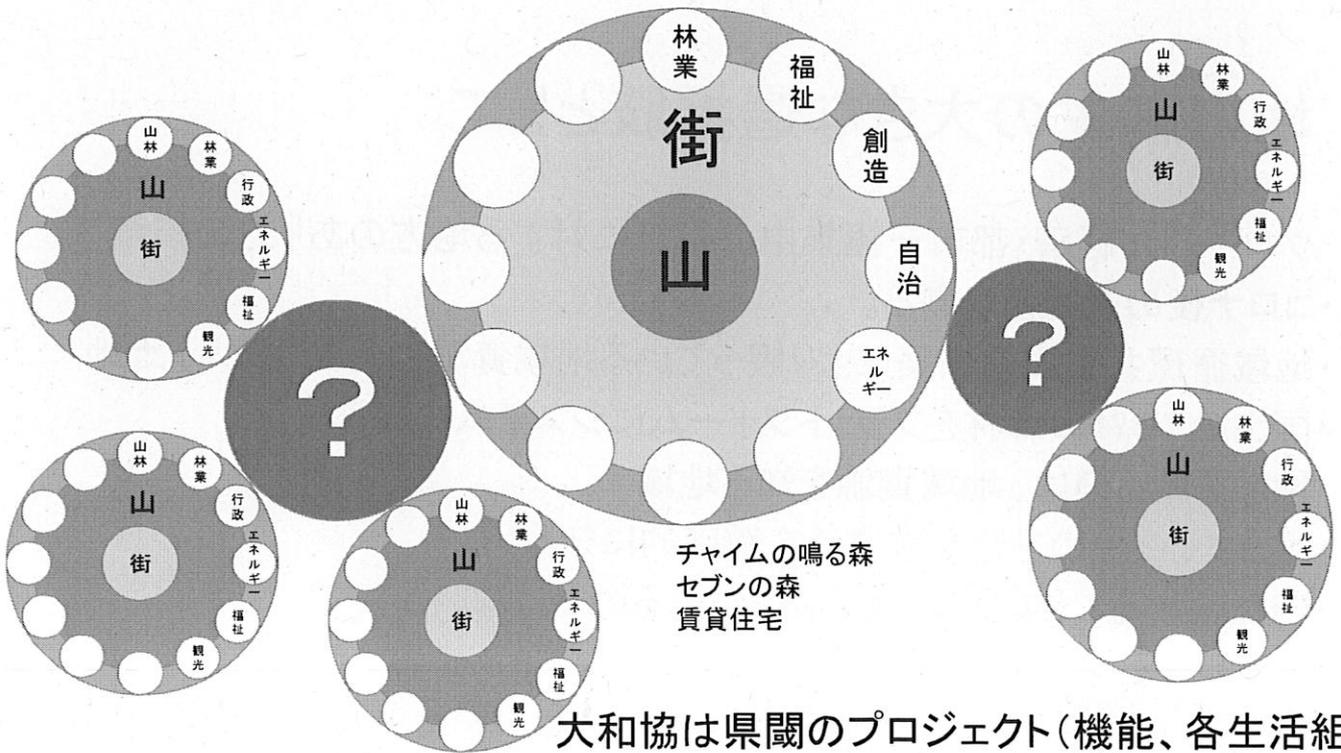
連鎖

歯車の様に毎日が動き出せば。

何か新しい未来のカタチが見えてくる



pixta.jp - 27708770



大和協は県閩のプロジェクト(機能、各生活組織)
山を巡って。色々な取組を連鎖させる。

新しい時代のパラダイムを地域から始める

何を狙うのか？



大人が「手と口さ出さなければ」
子供達はすぐ元気になる!!
先生の考えが「健たし」
親の手えろを「変えろ」も大切。
その「掛けになる空間が」
「要るのだ。」

まず「町のいちばんいい所に」
子供達のための「保育園」を!
(それがいいからね)



子供達が「夢中」で遊ぶ所。
地域の「子供」は、誰と「人」は「所」。
いつの「所」に「か」が「この」
「感覚」を「使」て「身体」を「動か」
かして「しょう」所。
「コンクリート」アラス
「フ」を「か」くし。
「木」や「土」を「使」い
「い」き「よ」く「保」つて「く」所。
子供達が「家」へ
「帰」る「た」め「に」
「保」育「園」を「つ」くる!!



そして、かつて、山と人々の暮らしは密接に関係していました。人が山を適切に管理することで、資源を得たり、水害などから守ってもらえるなど、山から様々な恩恵をもらっていました。しかし近年では、山と人の距離はすっかり遠くなってしまいました。「山と温泉」は、もう一度、山と人、そして地域の良い関係を築きたいと想っています。

FOR OUR HAPPINESS FUTURE THINK GLOBALLY ! ACT LOCALLY!

Shall We Challenge?

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



よろしければご一緒にしませんか？

ネクストコモンズラボ 奥大和

～奈良県×宇陀市×ロート製薬～

1

制度

総務省の地域おこし制度を活用

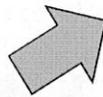
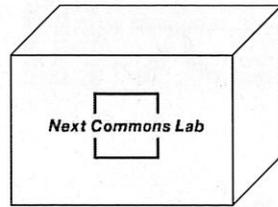
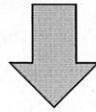


	隊員数	実施自治体数	うち都道府県数	うち市町村数
平成21年度	89	31	1	30
平成22年度	257	90	2	88
平成23年度	413	147	3	144
平成24年度	617	207	3	204
平成25年度	978	318	4	314
平成26年度	1,511 (1,629)	444	7	437
平成27年度	2,625 (2,799)	673	9	664
平成28年度	3,978 (4,090)	886	11	875
平成29年度	4,830 (4,976)	997	12	985
平成30年度	5,359 (5,530)	1,061	11	1,050
令和元年度	5,349 (5,503)	1,071	10	1,061

2

<起業家/個人>

新しい働き方・暮らしを実践する場



<自治体/国>

地方創生の
プラットフォーム

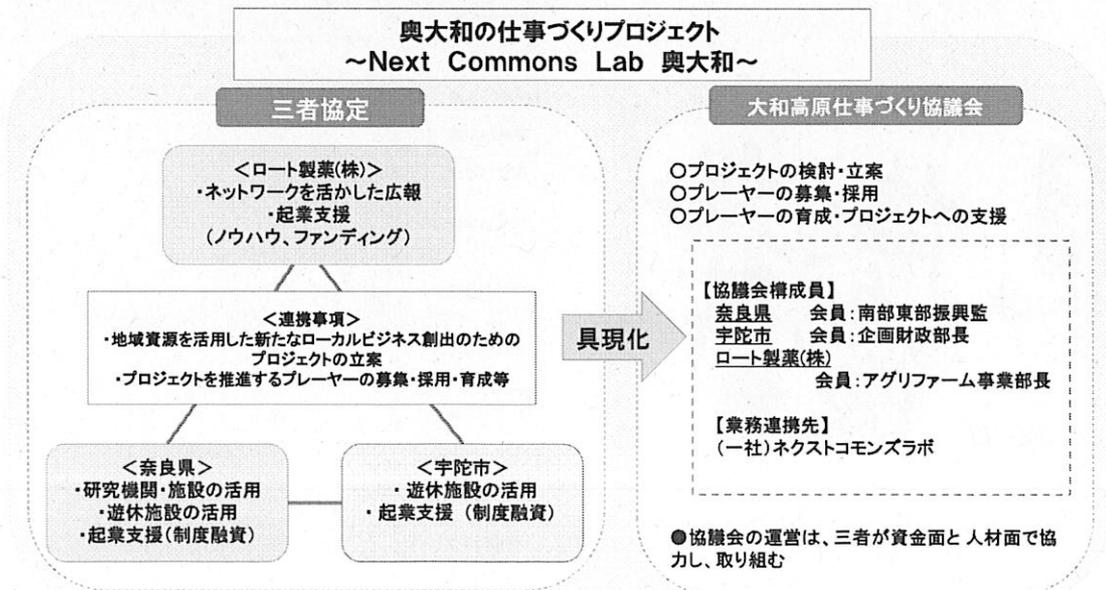


<企業>

新規事業開発の
プラットフォーム

奥大和の仕事づくり～ロート製薬(株)×奈良県×宇陀市で三者協定～

- ロート製薬(株)、奈良県及び宇陀市が、大和高原の仕事づくりプロジェクトの推進にあたり三者協定を締結。
(締結式:H28.12.6)
- 三者を構成員とする大和高原仕事づくり協議会を設置し、プロジェクトを立案。(H28年度)
- プロジェクト毎にプレーヤーを募集。起業を支援。(H29.4～)





2016年（平成28年）官民連携しての



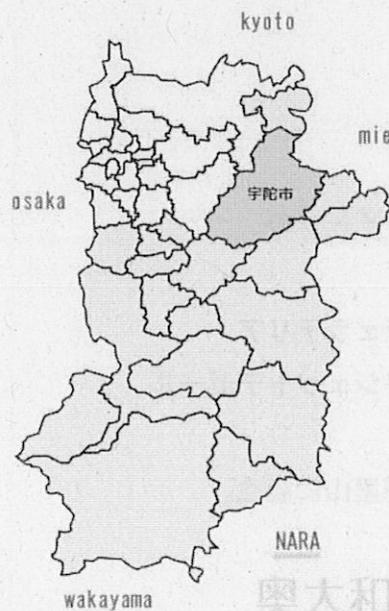
「大和高原の魅力ある仕事づくりで連携協定」を締結。



Food & Agriculture をテーマに

新規プレーヤーによるソーシャルビジネス創出へ

2017年4月～宇陀市域・大和高原地域で採用開始



NCL奥大和では

「食と農」をテーマに、

11の起業プロジェクトと

食と農の図書館などの

コミュニティプロジェクト

が進行中です。

うだベジ
うだベジ
宇陀の暮らしと野菜コンシャスなレシピ、食育の発信をしています。
事業主：板坂さん

ジェラテリアノンナ
地域の農産品を使ったイタリアン・ジェラートのお店。穂原のムコープ近くです。
事業主：穂原さん

Hachikai
蜂蜜とともに巡るものがたり。ウェブメディアと販売、まもなく。発送もできます。
事業主：橋本さん

馬小屋 Abii
『馬たちとあそぶ、まなぶ、はたらく』を業し、予約受付中。
事業主：安部さん

VILLAGE to TABLE
VILLAGE to TABLE
村から食卓へ、人から人へ、暮らしをつなぐ旅を企画。
事業主：前田さん

アグリベースなら
食と農の図書館やマルシェイベント企画など。
事業主：三原さん

amugu
amugu
手織み専門にデザイン・制作。手仕事のお宿をつくります。
事業主：川原さん

特細工
特細工
笠置竹林などの竹材を生かして食器などを製作。
事業主：高野さん

BEER HOLIC BREWING
BEER HOLIC BREWING
みんなで醸すブルワリーをコンセプトに活動中。
事業主：那須さん

Paris ブルエ
Paris ブルエ
デザートコースのお店。大宇陀ではじまりました。パンも稼業中。
事業主：松岡さん

POST INN
POST INN
天川村で熟睡をしながら春先にはゲストハウスをオープン。
事業主：三原さん

AGRI BASE NARA

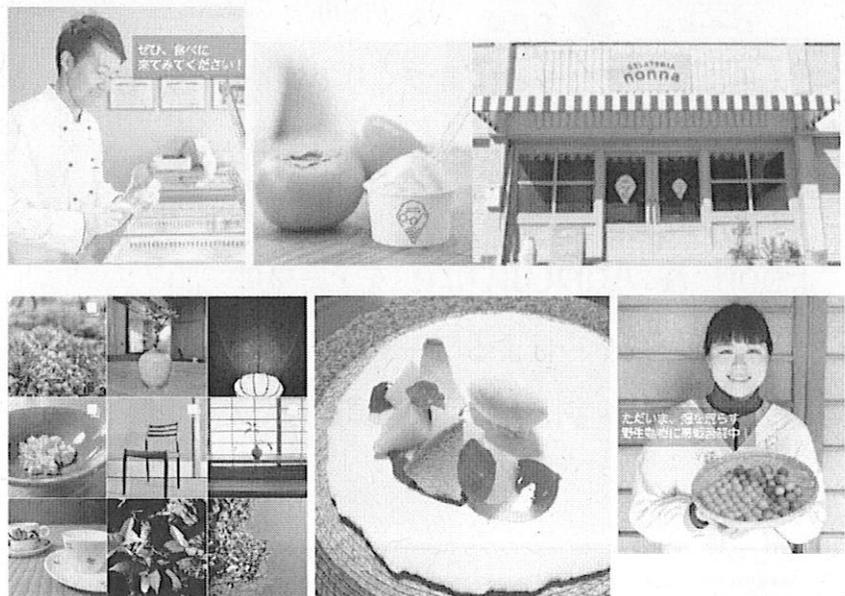
7

スイーツの

ジェラテリア

アシェットデゼール

が里山に誕生。



8

里山の暮らしでは

手仕事の宿
馬と生きるプロジェクト

で生き方を体現。



9

クラフトビールは

ハーバルビールに
シェアブリューアリーと

多様なビールが。

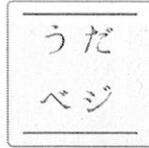


10

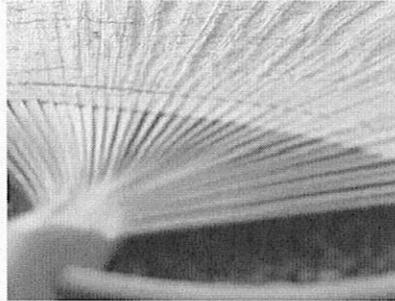
食事と暮らしの提案

「うだベジ」や

竹細工の食器なども



Vegetable & SAIGAMA life



11

奥大和(宇陀市)で

「食と農」をテーマに、

夢中になれるもの

解決したい社会課題

既に熱中しているもの

などを掛け合わせて、

仲間と一緒に想いや夢を実現していく…

そんなコミュニティを目指して取り組んでいます。



宇陀市の
田園風景

奥大和メンバー
市役所/地域の方



12



▼ 現在の支援総額

3,184,499円

目標金額は3,000,000円

👤 支援者数

305人

○ 目標額に達し残り

終了

→ マルシェで検証、食と農というテーマに特化した

320万円を集め交流図書館設立！

<2020年度に>

“種”からつくる、

食と農の図書館+マーケット！



地元のおじちゃんがヘルプ！



持ち寄り野菜が参加料、出演料になるイベント「ギブミーベジタブル@奥大和」



宇陀に新しいマーケットつくるオンライン寺子屋x3回

①和歌山：アーケイド ②イタリア：バザップ ②藤野：トランジションタウン

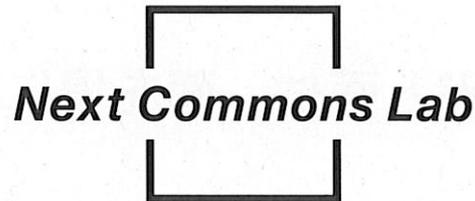


図書館の蔵書DAY&0円マーケット



点と面に、面を場に

場をつくり、チャレンジ人口を増やす
“ソーシャルキュレーター”



まだ見ぬ社会を生きよう。

Next Commons Labは、あらゆるセクターとの共創により、社会をアップデートするための実験と実装を行うソーシャルプロトタイピングチームです。見通しのきかない時代において、地域や自然、インフラ、システムなどの共通資本(コモンズ)との関わり方を一つずつ再構築することで、個性をあるがままに肯定し、生きることを謳歌できる社会をつくります。

〈NCLの課題意識〉

社会構造の経年劣化による硬直化

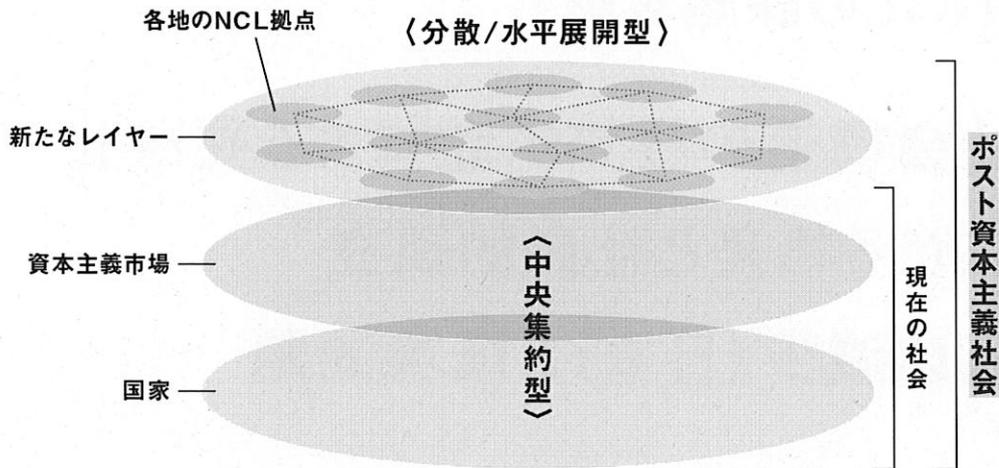
広がる格差と社会的孤立

人口減少(日本)と環境問題

〈ミッション〉

ポスト資本主義社会を具現化する

個別の課題を解決するのではなく 新しい社会構造そのものをつくる



ポスト資本主義社会=新しいレイヤー(自立分散型社会)を重ねる

〈NCLの3つのアクション〉

つくる人の
育成・連携

終身雇用ではなく、
どう生きるか？

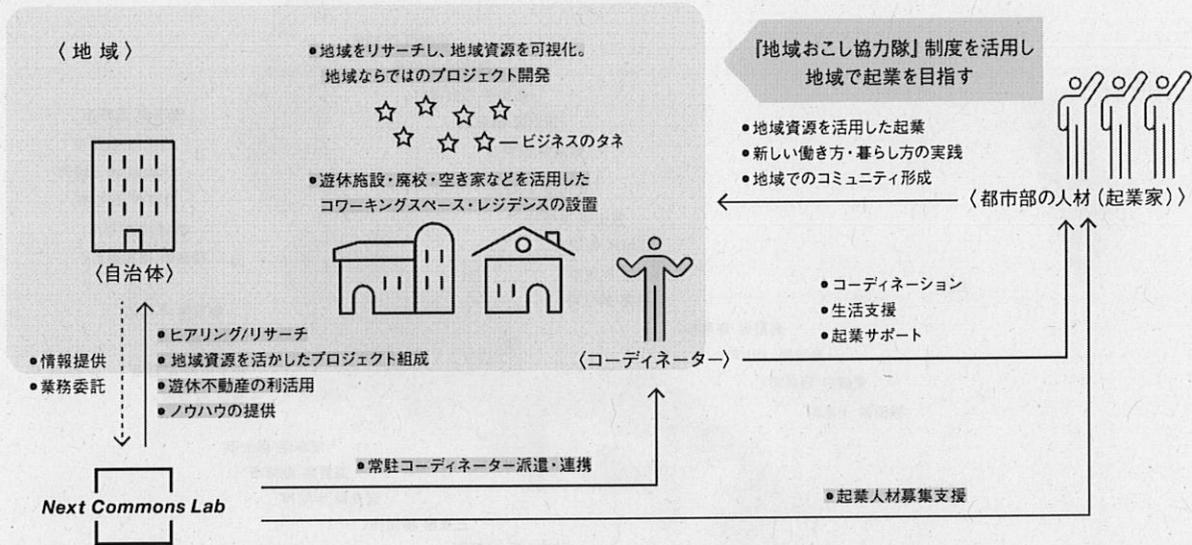
共同体の
アップデート

地縁血縁ではなく
どこに所属するか？

共感でつながる
経済圏の創出

お金やクレジット以外で
どうつながるのか？

〈ローカルベンチャー育成〉



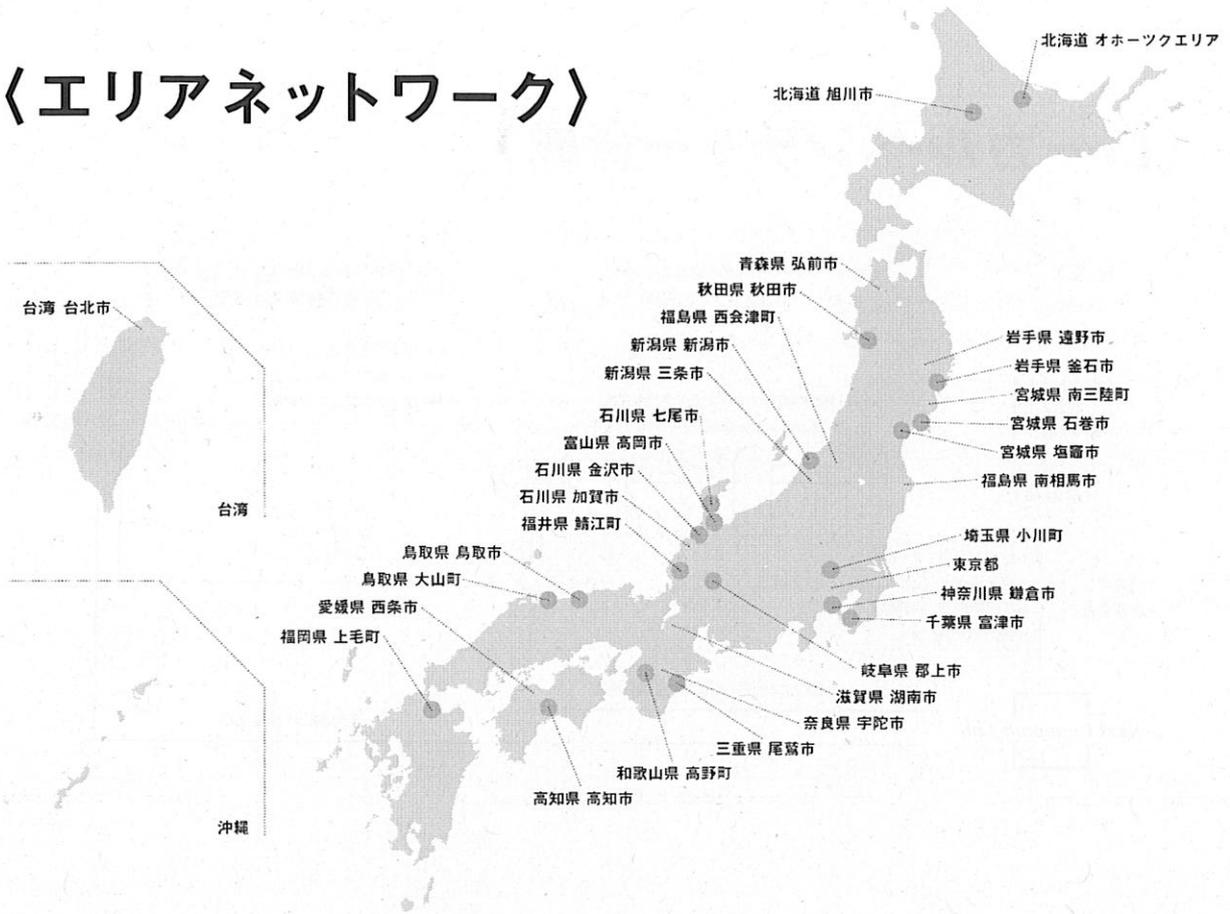
全国10拠点の
地域資源を活かした

90

以上のプロジェクトを組成

UNIVERSAL BREAD Food
CRAFT TOURISM
LOCAL PRODUCTION
SHARED LIFE
SAVIO ORIGINAL PROJECT
WINE INDUSTRY
SUSTAINABLE WINERY
SOCIAL BUSINESS OPEN LABORATORY

〈エリアネットワーク〉



Next Commons Lab \times 企業の強みや課題 = 新しい社会づくり

NEVER SAY NEVER
ロート製薬



KIRIN docomo^{NTT} mont-bell

JR東日本スタートアップ株式会社
JR East Start UP Co., Ltd.

FDA
FUJI DREAM AIRLINES

三ツ輪産業株式会社

PERSOL

日本財団
THE NIPPON FOUNDATION

LIFULL

ADDRESS™

TEAMKIT

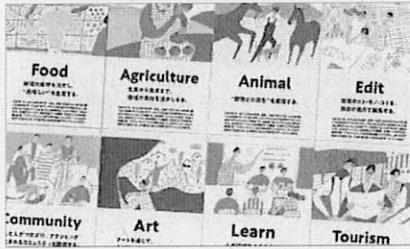
経済を、もっとおもしろく。
NEWS PICKS

〈NCLの魅力〉

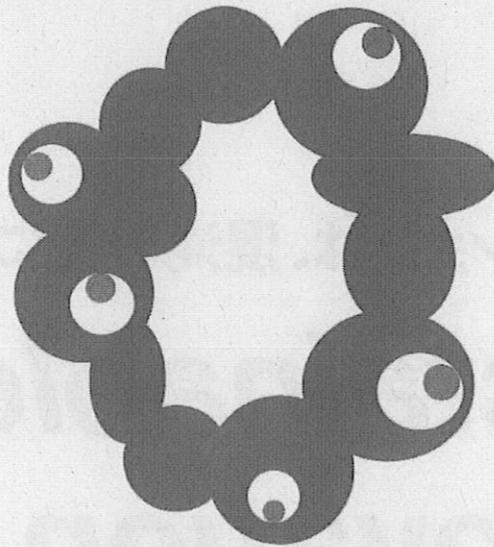
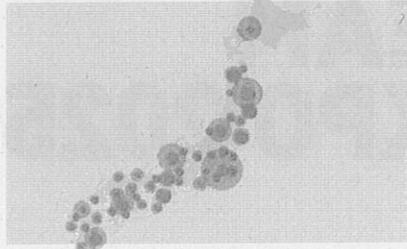
コーディネーター人材



企画力・表現力・実行力



ネットワーク/フィールド



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

×  Next Commons Lab

気候変動・災害・感染症が鳴らす警鐘

地域内でも循環するモデルへ転換できるのか？

2030年のSDGs、2025年の大阪万博

SDGs共創プロジェクト始動

SDGsは、チーム戦だ。

**TEAM
EXPO 2025**



イノベーションは、混沌の先にある。

***Sustainable
Innovation Lab***